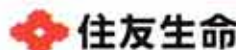


あなたの近くで、スミセイは  
子育て支援を続けています。

あなたの未来を強くする



住友生命は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

第18回

未来を強くする

子育て

プロジェクト

### 子育て支援活動の表彰

対象 地域において  
子育て環境づくりに取り組む団体や個人

最大  
100  
万円

#### ・スミセイ未来大賞

表彰盾、副賞100万円(2組程度)

#### ・スミセイ未来賞

表彰盾、副賞50万円(10組程度)

### 女性研究者への支援

対象 子育てと人文・社会科学分野の研究活動の  
両立に努力されている女性研究者

最大  
200  
万円

#### ・スミセイ女性研究者奨励賞

助成金として1年間に100万円(上限)を2年間まで支給(10名程度)



未来を強くする子育てプロジェクト 検索

ただいま募集中!

締切り 2024年9月9日(月)



第18回  
未来を強くする  
子育てプロジェクト

お届けしたのは

宛先・お問合せ先  
「未来を強くする子育てプロジェクト」事務局  
〒101-0065  
東京都千代田区西神田2-1-6 佐藤ビル3F  
電話: 03-3265-2283  
(平日10:00~17:30)



主催: 住友生命保険相互会社



2024年6月  
ソーシャルコミュニケーション室  
作成

## 子育て支援活動の表彰



より良い子育て環境づくりに取り組む  
団体や個人を表彰します。

### 表彰

- スミセイ未来大賞  
表彰盾、副賞100万円（2組程度）
- スミセイ未来賞  
表彰盾、副賞50万円（10組程度）

### 必要資料

- ① 応募用紙（webサイトよりダウンロード）
- ② 活動の様子がわかる写真
- ③ その他の活動内容がわかる資料  
（パンフレットなど）1、2点



## 女性研究者への支援



子育てと人文・社会科学分野の  
研究活動の両立に努力されている  
女性研究者を支援します。

### 表彰

- スミセイ女性研究者奨励賞（10名程度）  
助成金として1年間に100万円（上限）を2年間まで支給します。  
助成期間は2025年4月から2027年3月までの2年間の予定です。

### 必要資料

- ① 応募用紙（webサイトよりダウンロード）
  - ② 最近の論文など、1、2点
- ※資料の点数は審査の対象になりません。  
資料類は角2版封筒（A4版が入る大きさ）に  
入る程度の量とします。



## 募集期間、応募方法、選考などについて

募集期間 2024年7月8日(月)～2024年9月9日(月) 必着

応募方法 「未来を強くする子育てプロジェクト」のwebサイトで募集要項をご確認のうえ、応募用紙をダウンロード・ご記入いただき、必要資料と一緒に送ってください。  
※応募用紙は片面印刷とし、ホチキス止めはしないようお願いいたします。

選考 事務局による選考の後、「未来を強くする子育てプロジェクト」選考委員による選考会を経て、受賞者を決定します。

発表 受賞者は、2025年2月に都内で実施予定の表彰式\*および「未来を強くする子育てプロジェクト」のwebサイト等で発表します。受賞者には2025年1月末までに直接ご連絡します。  
※表彰式は、開催日時時点の社会状況によって、実施内容を変更する可能性があります。

## 受賞団体・受賞者のご紹介

第17回(2023年)  
[子育て支援活動の表彰]  
内閣府特命担当大臣賞

特定非営利活動法人  
親子ネットワーク  
がじゅまるの家  
鹿児島県大島郡徳之島町

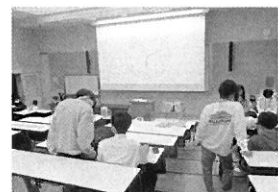


「子宝の島」で島民のニーズに応じた  
多様な子育て支援を展開

仲間同士で立ち上げた子育てサークルをスタートに、地域の子育てを支援するのを感じ、「親子のつどいの広場」を開設しました。子育て世代の方のニーズに応えるため、病児保育、保育園の開設、さらには子ども第三の居場所など、活動の幅を広げています。

第17回(2023年)  
[子育て支援活動の表彰]  
文部科学大臣賞

名護市学習支援教室  
びゅあ  
沖縄県名護市



大学生による生活困窮世帯の中学生への  
学習支援活動

名護市内の生活困窮世帯の中学生を対象に、大学の施設を活用して大学生ボランティアによる学習支援を実施。一人ひとりに、丁寧に寄り添った学習支援を実現しています。中学生は、自身の将来を身近な大学生に重ね、モチベーションを高めています。

第4回(2010年)  
[スミセイ女性研究者奨励賞]

大村 華子（おおむら はなこ）  
京都大学大学院  
法学研究科 教授



研究、育児、介護に疲れ切っていた私にとって、本助成は大きな支えとなりました。使途も比較的自由だったため、病弱な長女のためにベビーシッターを活用し、論文や著書執筆に集中できました。私に、「続ける力」を与えてくれたこの賞—現在女性研究者特有の困難に直面している皆さまにも届いてほしい、と切に願っています。

### 選考委員

選考委員長  
汐見 稔幸 [東京大学名誉教授、白梅学園大学名誉学長]

選考委員  
大日向 雅美 [惠泉女学園大学学長]  
奥山 千鶴子 [認定NPO法人びーのびーの理事長]

米田 佐知子 [子どもの未来サポートオフィス代表] 以上五十音順  
角 英幸 [住友生命保険相互会社 取締役代表執行役副社長]

個人情報の取扱い 応募者の個人情報は、審査および運営に必要な範囲内で利用し、第三者へ提供することは一切ありません。応募者の同意なく、利用目的の範囲を越えて利用することはありません。